

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

群馬県 みなかみ町

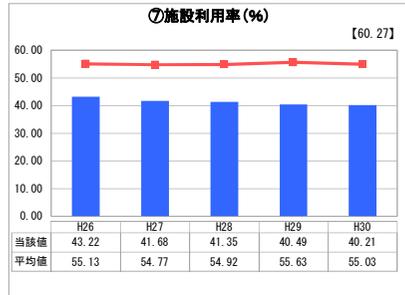
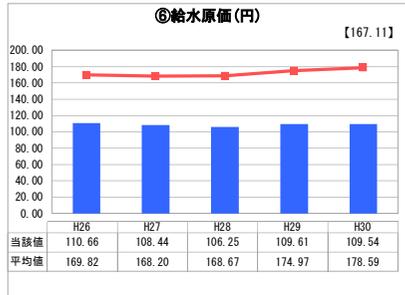
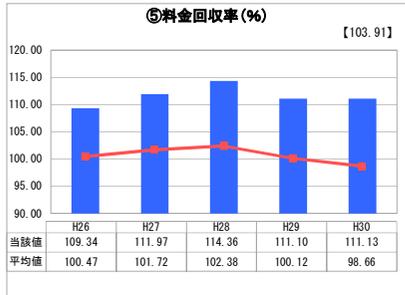
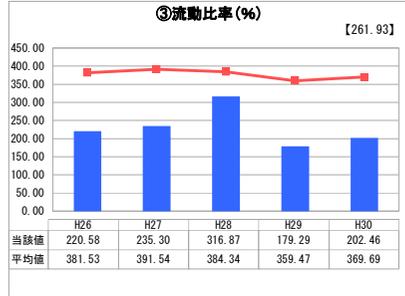
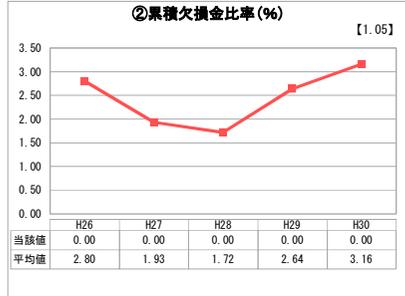
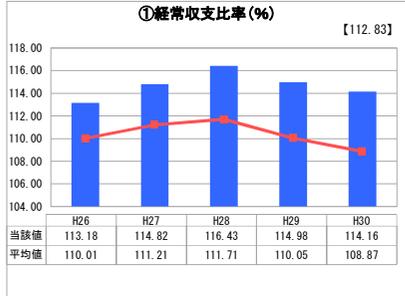
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)	
-	63.90	99.70	2,480	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
19,037	781.08	24.37
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
18,284	205.51	88.97

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

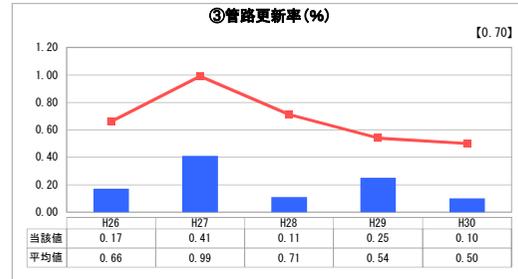
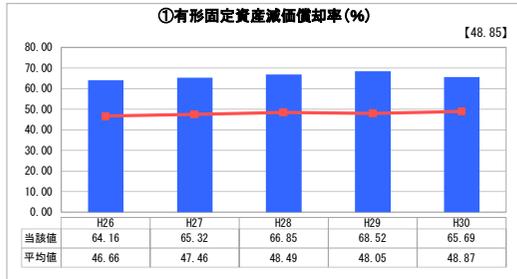
### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は類似団体や全国平均を上回っているが、収益は減少・費用は増加傾向にある。引き続き費用削減に努める。  
 ②累積欠損金比率は0%ではあるが、人口の減少に伴い給水収益は毎年減少している。また、施設の老朽化により今後の維持管理費は多額になることが見込まれるため、計画的な維持管理が求められている。  
 ③流動比率は昨年より上昇しているものの、類似団体や全国平均と比較すると低い。今後もバランスのとれた債務管理が必要と思われる。  
 ④企業債残高が減少したため、企業債残高対給水収益比率が上昇した。今後も比率と投資規模を考慮した上で企業債の借入を実施する。  
 ⑤料金回収率は安定している。類似団体や全国平均と比較しても高い水準を保っている。  
 ⑥給水面積が広く、施設が広範囲に点在している維持管理には不利な条件だが、給水原価は類似団体や全国平均より低い。維持管理費が低く抑えられていることが分かる。  
 ⑦施設利用率は徐々に低下している。原因は給水人口の自然減によるものと考えられる。  
 ⑧有収率はほぼ横ばいであるが、類似団体や全国平均と比較すると低い数値である。漏水が原因と思われる。

### 2. 老朽化の状況について

①②③  
 老朽更新計画はあるものの資金面で計画的な実施には至っていない。  
 耐用年数を経過した施設は複数あり、次期計画の財源確保は難しい状況である。当面は老朽化した施設に優先順位を付けて改修していきたい。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

類似団体と比較すると⑦施設利用率と⑧有収率が低いので、対応を検討し効率性を見直す必要がある。全体的に指標の変動は少なく安定している。今後も経営改善に努めたい。  
 給水収益の減少、施設の老朽化が進む中で、効率的な事業展開が求められている。水需要の動向を踏まえ老朽化した施設の更新、財源確保の検討を進め、水の安定供給を目指す。